第115回 理事会（平成19年度第1回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成19年6月23日（土）14：00～17：00
2. 場 所： 順海閣本館（横浜市中区山下町147）
3. 出席理事：（副会長）野地 澄雄、山田 隆、八尾 勉
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）三塚 康雄、菊地 富士夫、木村 徳善、上田 英之
（理事）徳本 進、藤田 浩介、金子 理人、川田 光代、国島 みどり、
吉野 大成、清水 忠、百海 廷、小池 光、森本 珠水、
平沢 幸一、斎藤 幸雄、吉岡 去私
書面票決：（会長）河野 洋平
（理事）荻野 恭宏、平賀 淳夫、岡本 洋一
4. 出席監事： 木村 信吉、内海 雄三
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事理事を指名
6. 議事録署名人選出： 百海 廷理事、吉岡 去私理事を選出
7. 書記： 大井 智子広報委員を指名
8. 議 事

開 会 八尾副会長が開会の挨拶を述べた。

1) 教育本部関係（パワーポイントによる説明）

(1) 報告事項

木村本部長より下記事項についての報告がなされ、了承された。

- ① 教育本部部会の開催について
5/26、6/7、6/16の3回開催
- ② 各委員会がそれぞれ開催された。内容はツールに展開予定
- ③ ブロック技術員などが着用するSAJウエアが来期から変更になる件
デザインやスポンサーがつくかどうかで価格の条件が変わる件の説明があった
- ④ 第1回オフトレーニングの開催
期日：6月30日（土）10時から
場所：昭和電工横浜事業所

(2) 審議事項

木村本部長より、下記の提案がなされ、承認された。

- ① パトロール専門委員の辞退届けについて
鎌倉スキー協会の古谷省吾専門委員から一身上の都合で専門委員を辞退したい旨の申し出があった。さらに「体調を崩して辞退を申し出た古谷パトロール専門委員の代替りの人材を現在、探してもらっている。次回、理事会で提案したい」と補足説明があった。
- ② 車山V行事の新設について
HC委員会からの提案を受け、3月最後の土日に車山行事Vの新設を申請し、HC行事を受け入れたい。これには「車山V行事は、一般研修も受け付けるが、HC行事のサポートをメインに考えたい」と補足説明があった。

(3) その他

①SAK指導員参加者の意識調査について（配布資料；「SAK指導員研修会参加者の意識調査」集計表）

百海理事より、「SAK指導員研修会参加者の意識調査」集計結果についての説明があった。2006年12月～2007年3月までの7行事でアンケートを実施。参加者の約半数に当たる483の有効回答数を得た。片専務理事より「教育本部には『改革してほしい』と常日頃から要望していた。その一環としてのアンケートは、非常にいいことをしてくれたと評価している。」との感想が述べられた。

2) 競技本部関係（配布資料なし）

(1) 報告事項

特になし。

(2) 審議事項

① 協賛企業の見積もりルールの見直しについて

菊地本部長より、「『10万円以上、3年以上協賛金を出さなければ、見積もりに参加できない』という規約規程を見直ししてほしい。」旨の提案がなされ、承認された。

片専務理事より、協賛企業の見直しについて、2004年の協賛会員規程の制定から時間が経過しており、従来からの契約会社の特典を考慮の上、「協賛会員規程」の見直しを検討してほしいとの要望がなされた。

(3) その他

①ジュニア選手の怪我について

菊地本部長より、「3月末にスーパーGに県連推薦で出場したジュニア選手がケガをしてしまった件で、小田原スキー協会の関係者に山田副会長が県連の責任問題と訴訟の可能性について発言を行なった旨を聞いた。専門委員や理事が、一生懸命対応している中でこうした内容が協会関係者に先に伝わるのは残念なこと。」との説明があった。

これについて、山田副会長より、「顧問から質問があって、説明をし、SAKを心配して訴訟問題になったらたいへんだと発言した。それ以上の意味はない。」と説明がなされた。

3) 総務本部関係（配布資料；「第115回理事会(平成19年度1回) 総務本部」)

(1) 報告事項

① 慶弔関係について なし

② 資金運用状況について

藤田理事より、5月末現預金残高についての説明があり、了承された。

17年度 : 5, 153, 900円、18年度 : 6, 965, 959円

③ 登録状況について

上田本部長より、18年度の登録人員について確定数値の報告があり、了承された。

イ) 18年度登録手続き状況

会員登録 17年度 一般: 6093名 (中学、大学他が入っている) 総数: 6264名

18年度 一般: 5474名 総数: 6056名 ▲208名

団体登録 新規登録: 7 総数: 272

④ 各種委員会報告

次の各理事からの報告があり、了承された。

イ) 総務委員会

1. 電子申込委員会 (徳本事務局長)

先シーズンの利用件数; 約1250件。今期は手数料無料キャンペーンを実施して、利用率アップ (約12%→50%以上) を図る

- 2. ウエア委員会 なし
 - 3. 普及振興委員会 なし
 - 4. 協賛会員拡大委員会（川田理事）（配布資料；平成18年度協賛会員）
 - ・43社の協賛企業があった（資料のNo39～43の5社が新規）
 - 5. 個人情報保護委員会 なし
 - ロ) HC委員会（国島理事）

5月末の段階で賛助会費をまとめたところ、個人・クラブ合計で85万7695円の支援をいただいた。
 - ハ) 広報委員会（金子理事）

『SAKだより53号』を発行し、クラブ代表者あてに発送を行った。
 - 二) 北海道委員会 なし
 - ホ) 財務委員会（藤田理事）→審議事項でまとめて報告
- ⑤その他
- イ) 夏期評議員会の日程確認について

徳本事務局長より、「今月末までに資料を作成し、7/11に発送予定だが、約50件分報告資料が届いていないので早く送付してほしい。」との報告があり、了承された。
 - ロ) SAKツール日程確認、手続き要領説明会について

徳本事務局長より、7月末日までに行事要項資料を作成提出して、8/10まで訂正を行うとの報告があり、了承された。
 - ハ) 事務局の7～8月土曜休務日について

上田本部長より、例年どおりに実施するとの報告があり、了承された
 - 二) 規約規定の申し送り事項について

上田本部長と徳本事務局長より、1. スノボ技術選推薦規定 2. パトロール技術大会推薦規定 3. 環富士山技術選の申合わせ事項内規化の3項目について昨年度理事会からの申し送りについて整理したい旨の報告があり、了承された。

(2) 審議事項

- ①平成18年度事業報告について（配布資料；「第115回理事会(平成19年度1回)、平成18年度事業報告・総括、総務本部報告、教育本部報告、競技本部事業報告」）
 - イ) 片専務理事より、平成18年度事業報告の総括として、組織運営5項目、事業運営8項目の説明があり、承認された。
 - ロ) 総務本部報告として、上田本部長より、8項目の説明があり、承認された。
 - ハ) 教育本部報告として、木村本部長より、4項目の説明があり、承認された。
 - 二) 競技本部報告として、菊地本部長より、先シーズン掲げた3項目の基本方針に関して、その成果について説明があり、承認された。
- ② 平成18年度決算報告について（配布資料；「第115回理事会(平成19年度1回)、平成18年度決算報告」）
 - イ) 藤田理事より、決算について説明提案がなされ、承認された。

当期収入合計：58,531,247円、当期支出合計：57,609,188円
 当期支出差額：922,059円
 - ロ) 上田総務本部長より、特別会計についての説明提案がなされ、承認された。

ジュニア強化モデル事業で89万円の残高となったが、19年度分の活動費とする。
- ③ 規約規定委員会の答申事項（役員選出規定等の改訂）について（配布資料；「第115回理事会(平成19年度1回)、答申書」）

徳本事務局長より、規約規定委員会で4回にわたり審議した結果の報告及び片専務理事より、答申事項について説明がなされ、承認された。答申の内容は、夏期評議員会で提案する。

④事務局員の時給と賞与改訂及び源泉徴収対応について（配布資料；「第115回理事会(平成19年度1回)、事務局給与・賞与の引上げについて」)

藤田理事より、横浜周辺の人材派遣相場に比べ、現行の事務局支給水準が乖離しており、長期勤務に対する処遇にも配慮すべきことから、事務局給与・賞与の引上げについての提案がなされ、承認された。

給与；現行水準1,020円/時間→引上げ後(6月から)時給額1,120円/時間

賞与；現行水準100,000円/回→引上げ後(源泉徴収開始後支給分から)104,000円/回(100,000円+税率4%)→賞与は実質的に据え置き対応

⑤電子申込み手数料無料について

徳本事務局長より、利用率アップ(現状約12%)を図るため、株式会社デジサーフの協力を得て今期は手数料無料キャンペーンを実施して利用率50%以上を目指す旨の提案がなされ、了承された。

4)平成18年度監査報告(配布資料参照)

内海監事より、別紙のとおり「平成18年度監査報告」が報告された。監査については、プレ監査5回、本監査1回を実施。現地事業によっては、経費節減のために総括責任者および執行責任者の参加が少ないように見受けられ、今後この点について検討して欲しいとの提案がなされた。

5)セミナー理事会

藤田理事により、別紙資料『平成19年度セミナー資料』(全15ページ)をもとに事業収支の内訳、執行費の流れ等を理解していただくために平成19年度セミナーが1時間ほど行われた。さらに今年度も監事の協力をいただき、12月頃より月1回プレ監査を開催予定であることの報告がなされ、了承された。

6)その他

①規約規程委員会の答申事項について

平沢理事から、規約規程委員会の答申事項について、次回役員での常務理事の選出人数について、確認の質問があり、片専務理事から「改訂案の第7条にあるように、4人を常務理事として選出し、うち1人を総括として選出することになる」と説明がなされた。

閉 会 野地副会長が閉会の挨拶を述べた。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成19年 7月 3日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印